

平成 29 年度 新潟市中之口地区コミュニティセンター 事業報告書

評価項目		評価の観点	内容
団体の評価	①団体について	地域に密着した組織であるか	指定管理者：中之口地区コミュニティ協議会 様々な地域課題を解決するために、地域が一体となり、自治会・町内会を中心に様々な団体等が参加する中学校区の組織である。
	②予算の範囲内での適正な執行	予算の範囲内で、適正に執行ができるか。また、収支計画は適正か。	収支計画書に基づき、協定書で定められた指定管理料の範囲内において効率的な執行を行った。
	③個人情報保護関係	新潟市個人情報保護条例の規定に基づき適切な取扱いを行えるか。また、個人情報の保護に対する意識は適正か。	個人情報に記載されている利用許可申請書等の取扱いの際など、日々の業務において個人情報保護に対する注意喚起を逐次行うとともに、マニュアルを活用した研修を実施するなど、個人情報の適正な取扱いの徹底を図った。個人情報を含む書類の破棄にあたっては、シュレッダーにより裁断処理の徹底を図った。
指定管理の評価	④施設の管理方法	事業計画に定める施設の管理方法は適切か。	利用者が安全かつ快適に施設を利用できるよう、協定書・管理仕様書の内容に基づき、適正管理に努めた。事務長が中心となり職員全員に対し施設管理における報告事項・留意事項などを伝達し、施設サービスの向上に努めた。また、地域の情報交換の場として、関係団体が気軽に立ち寄っていただけるよう事務室内のミーティングスペースを、関係団体などとの打ち合わせに活用した。
	⑤組織・人員体制	安全に運営できる組織・人員体制になっているか。	中之口コミ協が管理人を雇用 センター長 1 名、事務長 1 名 管理職員 3 名で 3 交代制(常時 1 名勤務)
	⑥事故防止や発生時の対応	事故防止に努めているか。また、事故発生時の対応が整備されているか。	事故発生時には、「危機発生時対応マニュアル」に沿って、速やかにセンター長への報告・伝達を行い、事故の大小にかかわらず、西蒲区地域課への報告を適切に行うこととしているが、施設内における定期的な巡回や設備の適正管理により、事故防止につなげた。
	⑦要望や苦情に対する対応	要望や苦情を受けるためのしくみが整備されているか。	要望・苦情などがあつた場合、管理日誌の報告事項に必ず記入することとし、必要に応じて施設管理運営会議で情報の共有・対応検討を行い、以降の施設運営に生かすこととしているが、当該年度における利用者からの苦情はなかった。
	⑧災害発生時の対応	防災マニュアルや避難訓練などの災害発生時の対応は整備されているか。	災害が発生した場合、「危機発生時対応マニュアル」に従い、利用者の安全を確保するよう研修を実施した。また、隣接する中之口出張所と合同で避難訓練を実施した。
	⑨管理経費削減の具体的な取り組み方法	経費削減への取り組みに努めているか。	光熱水費が公費で賄われていることを十分に認識し、節水やこまめな消灯の徹底など、無駄なエネルギーの消費を抑えて管理的経費の節減に努めた。
事業の評価	⑩自主事業計画	利用料金に応じ、地域に配慮した事業が計画されているか。	貸室の一部を「地域の学習室」として無料開放し、隣接する中学校生徒などへの学習スペース提供や居場所づくりの取組を行った。また、ロビーの一角にパネルを設置し、四季の風景写真を掲示しているが、新たに、11月から翌年の3月にかけて「米作りの歴史を辿る」と題して、昭和30年当時の地域の米づくり回顧展を開催した。
	⑪新潟市のコミュニティ施策についての理解	新潟市のコミュニティ施策や事業について理解しているか。	公共の施設であることを十分認識しており、市長への手紙・区長への手紙を常設している。また、市政情報提供のため、市報・区報を常設している。
	⑫サービス向上に向けた取り組み	利用者のサービス向上に向けた取り組みに努めているか。	利用者のニーズの把握に努め、利用者の声に積極的に耳を傾けるため、館内にアンケート用紙を常設している。コミセンを多くの方々にご利用いただくため、コミ協広報誌やコミ協主催のイベント等でのPR活動に積極的に取り組んだ。